

大阪回生リハビリテーション研究会 特別講習会風景

大阪回生リハビリテーション研究会 特別講習会

「感覚と運動の生理学」④

—骨格筋の生理学Ⅲ 感覚入力による骨格筋の制御—

講師：曾我部 正博 先生(名古屋大学 大学院医学研究科 細胞科学大講座 主任教授)

日時：2010年3月27日(土)

会場：回大阪回生病院リハビリテーションセンター

大阪回生リハビリテーション研究会 Osaka Kaisei Rehabilitation Society

URL : <http://www.kaisei-hp.co.jp/center/rihabiri.html>

ご多忙の中、今回も曾我部正博先生を講師にお迎えし、シリーズ第4回 感覚と運動の生理学について御講義いただきました。

今回は、筋収縮のメカニズムに始まり、筋紡錘内での感覚入力による骨格筋の収縮制御機構など、生理学的特徴を利用した筋の治療方法について御指導いただきました。その他、最新の研究に基づいた細胞力覚の見解など大変興味深いお話をいただきました。

私たちが日頃の治療の中で、理解すべき生体内での骨格筋のメカニズムについて考えていく良い機会となりました。全4回にわたり、曾我部先生、本当に有難うございました。

<講義風景>



大阪回生リハビリテーション研究会

特別講習会

感覚と運動の生理学 科学的筋治療を目指して

第4回 「**感覚入力による骨格筋の制御**」

➤ 講習会内容にて一番興味をもてたこと

- 痛みのメカニズムと治療との関連
- α - γ 連関について
- 筋紡錘の構造、働き
- 細胞力覚（メカノバイオロジー）

➤ 疑問に思ったこと

- α 運動神経に対する介入の仕方
- 感覚の相互作用について
- 反射のメカニズム
- 疼痛が強い場合の治療法

➤ 難しく感じたところ

- α - γ 連関について
- 痛覚と治療
- 細胞力覚（メカノバイオロジー）

➤ 感 想

- 第1回から第4回まで参加し、今後の治療に活かせる知識が増えました。
- 曾我部先生の細胞力覚についての最新の研究に大変興味を持ちました。
- 筋収縮メカニズムなど復習も兼ねて教えていただき、非常に理解しやすい内容でした。
- 全体的に分かりやすい内容でした。基礎的な生理学の内容から講義していただき、筋紡錘の構造と制御機構を臨床につなげながら考えることができました。